園行事参加型+親子体験活動参加型(幼稚園)

学 校 名 等	北方町立幼稚園
実施日時	平成27年7月29日 16:00~19:00
会場	北方町立幼稚園 園庭及び遊戯室
参加人数	全園児(90名)・保護者や家族、中学生・大学生・地域ボランティア(40名)
学習課題(分野)	夏のわくわくデー(園・保護者・地域の連携)
運営者の願い	園では、様々な体験活動を通して、物事に対する感性や自主性、好奇心や探究心、人と関わる力を育てている。そこで、「夏のわくわくデー」(行事)に親子体験活動を組み込むことで保護者が主体的に参加し、人との関わりと子育てを学ぶ場とする。また、年長児が年中・年少・地域の方とふれあうことで、人と関わる楽しみや喜びを実感できるようにする。

学習の内容

<PTA役員や園・地域との連携による準備>

事前の打ち合わせを大切にし、PTA活動の重要なものとして積極的に広報し、主体的に参加して もらうようにした。カレー作り・カレーパーティー会場準備や子ども遊びコーナーの用意を分担した。

「夏のワケワケテー」配置図 (晴天の場合)

カレーコーナー

地域の方には、野菜作り、北方ばやしの指

導を依頼した。裁縫クラブの 方には特技を生かし、ドラえ もんの絵柄タワシ等の景品 作成をお願いした。



<親子体験活動>

親子で食べたり遊んだりする活動を楽しむ。 ①カレーパーティー ②輪投げ ③紙コップで 作るおもちゃ ④お化け屋敷 ⑤ヨーヨー釣り

<年長児のおもてなし>

年長児は、早めに登園し、園の野菜で作られたカレーを食べ、親子遊びを先に楽しんだ。年少・年中児や地域の方をもてなす役割を担っているからだ。

- カレー券をもらって、カレーを運ぶ係
- ・竹太鼓や踊りを披露して、みんなを楽しませる係
- ・招待状作り、会場づくり、後片付け

年長児は、「カレーはいくついりますか。」「カレーをどうぞ!」

「ありがとうございました。」と会話しながら笑顔でみんなをもてなし、人との関わりを喜んでいた。

<PTA、ボランティアの協力> (コミュニティ・スクールの推進と関わって)

- ◇PTA・・・「輪投げ」「紙コップで作るおもちゃ」コーナーの開催
- ◇中部学院大学の学生・・・「お化け屋敷」「ヨーヨー釣り」コーナーの開催
- ◇北方中学校の生徒・・・カレーの盛り付け、遊びのコーナーでの手伝い
- ◇地域の方・・・カレーの「野菜作り」(土おこし、苗植えなど)

北方おどり保存会による「北方ばやし」の指導 裁縫クラブによる「遊びの景品」づくり

<一緒に楽しみ、子どもの成長を体ごと受け止める保護者>

夕空に白い月が顔を出し、凉やかな風が吹き始めた頃、後片付けまで自分たちで終えた園児が、 お父さんお母さんを目掛けて走り、父母の大きな胸に飛び込んだ。

『ただいま。』「おかえり。」「楽しかったね。」『うん、楽しかった!』『ぼく、頑張ったよ。』「うん、見たよ。」と言葉を交わしながら、笑顔でわが子をギュッと抱きしめる親子が園庭いっぱいに広がった。

わが子のいきいきとした表情や精一杯やり切ろうと努力している健気な姿を目の当たりにした保護者には、この行事が確かな成長と喜びを共有する場となった。





園行事参加型十親子体験 活動参加型

「夏のわくわくデー」(行事) を活用して、親子体験活動 を行い、保護者が主体的に 参加し、人との関わりや子 育てを学ぶ場とする。



園・保護者・地域の連携 (コミュニティ・スクールの推進)

- ①「夏のわくわくデー」の 行事のねらいを共有し、 園・保護者・地域が連携 して園児を育てる。
 - 収穫の喜びを味わう
 - 色々な人との関わりを喜ぶ

②事前打ち合わせをする。

- 当日までにすること
- ・当日午前中にすること
- 当日役員としてすること
- 親としての心構え

③三者で連携をする。

地域:野菜作りの手伝い 北方ばやしの指導 裁縫クラブの作品

中学生: 行事ボランティア 大学生: 活動ボランティア

④親子体験活動を通して、 子ども達の活動の様子 をみんなで見たり、一緒 に楽しんだりして親も 学ぶ。



LECRITOR!

3-3-24

69.73-8-4 75. MO O

地域の皆様へ